

第1学年図画工作科学習指導案

1. 題材名

「みんなあつめて たからものいっぱい」

2. 題材の目標

(1) 教科として目標

○関心・意欲・態度：身の回りの自然物などに関心を持ち、きれいなもの、興味をもったものを集める。

○発想や構想の能力：透明のシャーレに詰め込むことで印象が変化し、異なる角度から見ることで、よさや面白さを感じながらどのように並べたり重ねたりするか発想する。

○創造的な技能：自分の好きなものを、丸いシャーレの中で工夫しながら詰め込んだり並べたりする。

○鑑賞の能力：互いの並べたもののよさや面白さを味わい、全員のを並べた時の印象の変化などを楽しむ

(2) 汎用的スキル

・伝える力

・批判的思考力

(3) 態度・価値

・愛する心

・他者に対する受容・共感・敬意

・好奇心・探求心

3. 児童の実態

1年生は自然の中で活動することが大好きであり、能動的に様々な発見を行う。本題材は1年生が学校に慣れてきた秋に行く。これまで親しみ、関係をつくってきた学級の友達と一緒に、慣れてきた学校の中で更に新しい発見をする活動に、好奇心がかきたえられる。また、初めて夏から秋への変化を学校の中で味わうことで、これまで見てきた風景が変わることも活動への意欲につながる。そうした1年生らしい関心・意欲や気づきを、自然物の形や色などから発想・構想させていく造形活動、また互いのつくったものを見合う活動へとつなげていきたい。

4. 題材について

(1) 教科からみた特性

本題材は自然の中の造形的な形・色などの特徴と、児童の思いを基にした活動を行う。主に、シャーレの中に、自分の自然の中から見つけた宝物を並べたり詰め込んだりする活動と、それらを友達と見合う活動の2つに分けられる。丸い形のシャーレの中に木の実や秋の花などを置いていく子、砂や土を詰め込んでドングリなどを埋め込み、絵や模様のようにする子などが出てくる。複数そのようなものがつくれば、それらを自分の好きなように並べ、全員で見合い互いの選んだもののよさや面白さを味わいあう活動にしていきたい。

(2) 汎用的スキルや態度・価値育成の観点からみた特性

透明のシャーレに詰め込み、異なる角度から見ることを味わったり、友達の選んできたものと一緒に並べたり重ねたりして鑑賞することで、多くの見方を味わう。これは一方向から見る視点だけではなく、多様な視点から見ることで印象が変わっていくことで、子供に驚きや面白さ、意外さを味わわせる批判的思考力の視点の素地を養うことになると考える。シャーレを、又はそれを並べたり積み重ねたりしたものを、裏からや横からなど多様な角度、視点で見ることができるよう環境や手立てが必要になる。また、自然に能動的にかかわることで自然を愛する心を育てる体験につなげることと、それを意識させる声掛けを大事にしていきたい。なお、自分の好きなものを伝える力、お互いのよさを受容、共感していく力なども必要である。

(3) 教材について

自然物をつかった活動であるため、造形遊びなどで、秋の自然物を並べたり積んだりする活動と共に行うのもよい。自分の気に入ったものを透明のシャーレの中に並べたり詰め込んだりし、自分だけの宝物をつくる。丸い形の中できれいさや面白さを感じながら、それぞれの思いを大事にして活動させたい。丸い形から発想をする子供もいるし、透明のシャーレの下から覗き込むような視点で並べていく活動をする子供もいる。シャーレや自然物などの材の特徴を生かした活動から、鑑賞の能力を働かせるようにしたい。そのため、終末において相互鑑賞をする場合は、互いにいろいろな角度や視点で見ることや、見つけた人、詰め込んだ人の思いを大切にして、鑑賞を進めていけるとよい。

シャーレなので大きくはないため、箱のように思いのままたくさん詰め込むようなことはできない。透明であることや、最後に鑑賞する時に並べたり積んだりできることを優先している。そのためできるだけ多く子供に用意しておいてあげるとよい。

5. 題材計画と資質・能力を育成する主な手立て（全4時間）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質能力を育成する主な手立て
第1次 (3時間)	・自分の見つけた自然物をシャーレの中に並べたり、詰め込んだりしていく。	○好奇心・探求心 ○愛する心	○自然の中での自分の新たな発見や気づきを大切に、気に入ったものを集めさせる。 ○並べ方、重ね方、置き方などを工夫し、色々な視点を意識させていく。
第2次 (1時間)	・全員のを並べて見合う。	○他者に対する受容・共感・敬意 ○伝える力 ○批判的思考力	○互いに集めたものを見合い、それぞれのよさを共有できるような声かけと支援をする。 ○色々な角度や視点で見ることが出来る学習環境をつくる。

6. 本時の学習指導

(1) 本時の目標（4 / 4時間）

・お互いの集めたものを並べて、互いに見合うことでよさや面白さを共有する。

(2) 準備物

・葉や木の実などの自然物が豊かに在る場の設定 シャーレ ボンド テープ

(3) 本時の展開（と本時につながる前時の活動）

授業計画	○学習活動 ・予想される児童の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価
導入・展開 (135分)	<p style="text-align: center;">シャーレの中に自分だけの宝物を見つけて詰め込もう。</p> <p>○「この小さなシャーレに、秋にしかない自分だけの宝物を詰め込もう」という教師からの提案を受け、活動への意欲を高める。 ・私はどんぐりを並べてみたい。 ・私は土を詰めてみて、それから面白いものを捜してみるよ。 ・私は見つけたきれいなものを集めたいな。 ・咲いている花を折ったり、採ったりしないで、落ちているもので集めていくんだね。 ○自然が豊富な広い場所へ移動し、自然に目を向けながら活動を行う。 ・私は土を詰めてから枝を横にして模様に見てみたよ。 ・下から見ると葉に光が透けて面白い。</p>	<p>◇自然物を扱うため、落ちていた物を取り扱うため、生きている枝や花をとらないように指導する。 ◇発見や気づきを大切にしていけるため、また、豊富な材料が見つかるようにするため、適切な場の設定をよく考えておく。 ◇見つけたきれいなもの、面白いものをいくらかでも詰め込めるように、シャーレは一人1枚でもよいが、一人あたり複数用意しておいてもよい。 ◆自然物の面白さ、よさに気づく。 ◇シャーレの中に並べる時、場合によってはボンドなどを使って貼れるようにしておく。 ◇虫などを見つけ、入れる子が出てくるので、初めに生き物は詰め込まないように注意する。造形的な特徴を意識させて並べさせる。 ◆シャーレの中での見つけたものの並べ方、重ね方などを工夫している。</p>
鑑賞 (45分)	<p style="text-align: center;">集めたものをお互いに見合おう</p> <p>○自分の集めたものを友達と一緒に見てみようという提案し、自分たちの見てほしい向きなどの思いを大切に並べていく。 ・この2つを並べておきたい。 ・これは下から見ると面白いから、下から見てもいい。 ・私は友達と一緒に並べてみてほしいな。</p>	<p>◇机の上に並べていくのもよいが、透明のプラスチック板などがあれば、その上に並べて下から見られるようにするなど場の設定を工夫する。また、子供が持ち上げて見やすいようにしてもよい。 ◇並べ方、置き方などを子供に考えさせて、きれいな置き方、並べ方を意識させる。 ◇簡単な紹介カードを書かせてもよい。 ◆互いの集めたもののよさ、並べ方の面白さなどを感している。</p>